

先生各位

報告書記載内容変更のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、下記の報告書におきまして、記載内容を変更させていただきますのでご案内申し上げます。今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《変更日》 令和3年4月6日（火）報告分より

《変更内容》 詳細は別添参照

対象報告書名	変更内容	変更後	
定型	追加	間接ビリルビン eGFR non-HDL コレステロール	
	削除	尿アミラーゼ ASO RF 定量 アンチトロンビン活性	血中 FDP 虫卵 集卵
人体図	追加	eGFR non-HDL コレステロール	
	削除	ASO	
	臨床的意義	監修の変更による全体的な見直し	
患者用定型	項目の追加	eGFR non-HDL コレステロール	
	項目の削除	LDL/HDL 比 無機リン	ASO RF 定量
	臨床的意義	監修の変更による全体的な見直し	

※ 項目の追加・削除により印字位置を変更致します。

※ その他の記載内容に変更はございません。

《変更理由》 報告書見直しのため

別添：新様式報告書

● 定型報告書 (は追加項目)

検査報告書<生化学>			検査報告書<免疫・血液>			検査報告書<尿・糞便>			検査報告書<指定・フリー>			
▼ FALCO			▼ FALCO			▼ FALCO			▼ FALCO			
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	
受付日	受付日	受付日	受付日	受付日	受付日	受付日	受付日	受付日	受付日	受付日	受付日	
採取日	採取日	採取日	採取日	採取日	採取日	採取日	採取日	採取日	採取日	採取日	採取日	
報告日	報告日	報告日	報告日	報告日	報告日	報告日	報告日	報告日	報告日	報告日	報告日	
検査項目	基準値	検査結果	検査項目	基準値	検査結果	検査項目	基準値	検査結果	検査項目	基準値	単位	検査結果
総ビリルビン	T-Bil		CRP定性	CRP		尿一般検査		尿一般検査				
直接ビリルビン	D-Bil		CRP定量	CRP		蛋白定性		蛋白				
総蛋白	T-P					糖定性		糖				
アルブミン	Alb					ウロビリノーゲン		Uro				
A/G比	A/G					ビリルビン		Bil				
AST(GOT)	GOT		白血球数	WBC		pH		pH				
ALT(GPT)	GPT		赤血球数	RBC		ケトン体		ケトン体				
ALP IFCC	ALP		ヘモグロビン量	Hb		潜血		潜血				
LD IFCC	LD		ヘマトクリット値	Ht		比重		比重				
LAP	LAP		尿 MCV	MCV		尿蛋白定量		尿蛋白				
γ-GT(γ-GTP)	γ-GTP		尿 MCH	MCH		(管尿)		糖量				
コリンエステラーゼ	ChE		尿 MCHC	MCHC		尿糖定量		糖量				
アミラーゼ	AMY		血小板数	Plt		(管尿)		糖量				
CK(CPK)	CK		網状赤血球数	Reti		尿沈渣		尿沈渣				
総コレステロール	TC		好中球	Neut		赤血球		RBC				
LDLコレステロール	LDL-c		好酸球	Eos		白血球		WBC				
HDLコレステロール	HDL-c		好塩基球	Baso		扁平上皮細胞		扁平				
LDL/HDL比	LDL/HDL-c		リンパ球	Lymph								
non-HDLコレステロール	non-HDL-c		単球	Mono								
中性脂肪(TG)	TG		球	Band								
ナトリウム	Na		棒状核球	Seg								
クロール	Cl		類									
カリウム	K											
カルシウム	Ca		プロトロンビン値	PT								
マグネシウム	Mg		活性値	PT(N)								
無機リン	IP		INR	PT(INR)								
血清鉄	Fe		APTT	APTT		糞便検査		糞便検査				
TIBC	TIBC		フィブリノーゲン	Fib		便ヘモグロビン		便ヘモ				
UIBC	UIBC		D-Dダイマー定量	D-D		2日目		2日目				
尿酸値	BUN					3日目		3日目				
クレアチニン	CRE											
eGFR	eGFR											
尿酸	UA											
グルコース(血糖)	GLU											
HbA1c NGSP	HbA1c											

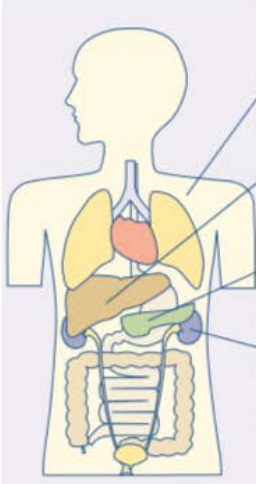
● 人体図報告書 (は追加項目)

検査報告書



検査項目		今日値	前日値	前々日値	臨床的意義
検査項目	単位	基準値	単位	基準値	
総蛋白	g/dl				栄養状態や肝機能、腎機能などで病状の程度を反映し、減少します。
アルブミン	g/dl				栄養不良、肝障害、ネフローゼ症候群などで病状を反映し、減少する蛋白成分です。
A/G比					アルブミンとグロブリンの比。肝障害や低栄養、慢性の炎症状態などで減少します。
総コレステロール	mg/dl				脂質代謝異常を反映します。高い場合は動脈硬化の危険因子になります。
LDLコレステロール	mg/dl				悪玉コレステロールとも呼ばれ、高い場合は動脈硬化の危険因子になります。
HDLコレステロール	mg/dl				善玉コレステロールとも呼ばれ、低い場合は動脈硬化の危険因子になります。
non-HDLコレステロール	mg/dl				HDLコレステロール以外を悪玉コレステロールとした動脈硬化の指標です。
尿酸	mg/dl				尿酸値が高値は痛風や腎臓の障害となります。食事の乱れで変動します。
ナトリウム	mmol/L				血中濃度は脱水で増加、水分の過剰摂取や下痢・嘔吐で減少します。
クロール	mmol/L				過剰イオン濃度です。血中の異常やナトリウム代謝障害を示し、異常値を示します。
カルシウム	mg/dl				筋肉の収縮や神経伝達に關するミネラルです。腎不全などで増加します。
CK(CPK)	U/L				骨格筋や心筋の壊死や運動に關する酵素で、異常の大きさを反映する指標です。
総ビリルビン	mg/dl				赤血球の分解産物で黄疸の状態を反映します。
直接ビリルビン	mg/dl				急性肝炎や胆汁うっ滞など黄疸の病状を反映します。
AST(GOT)	U/L				肝臓や心筋、骨格筋、赤血球などに含まれる酵素で、障害の程度を反映します。
ALT(GPT)	U/L				主に肝細胞に多く含まれる酵素で、肝炎ではASTより高値傾向を示します。
ALP (IFCC)	U/L				胆汁うっ滞が伴う肝疾患のほか、骨疾患や妊娠などで増加する酵素です。
LAP	U/L				肝疾患や胆汁うっ滞など黄疸の病状を反映する酵素です。
γ-GT(γ-GTP)	U/L				アルコール性肝障害や胆道疾患などの病状を反映する酵素です。
コリンエステラーゼ	U/L				肝臓機能を反映し、肝機能障害で減少、ネフローゼ症候群では増加します。
アミラーゼ	U/L				ブドウ糖を分解する酵素です。膵炎や唾液腺の炎症で増加します。
グルコース(血糖)	mg/dl				血糖値は同様の動物の動物に用いる基本的な検査です。食事の影響で変動します。
HbA1c NGSP	%				過去1〜2か月の平均的な血糖値を反映します。
尿酸	mg/dl				尿酸代謝産物で、腎機能の低下などで増加します。
eGFR	ml/min/1.73m ²				筋肉由来のクレアチン代謝産物で、腎機能の低下で増加します。
CRP	mg/L				炎症反応を伴う病状で、炎症の程度を反映します。
CRP	mg/L				感染症や炎症反応に伴い、血中に増加する蛋白の一つです。
尿酸	mg/dl				尿酸が尿酸塩で、血中の過剰な尿酸は痛風や関節炎の原因になります。
LD (IFCC)	mg/dl				多くの臓器に含まれる酵素で、貧血や白血球、肝障害などで増加します。
白血球数	10 ³ /mm ³				炎症で一過性や慢性に、白血球などの血液成分は高値が持続します。
赤血球数	10 ⁶ /mm ³				貧血や多血症などの診断に用いられる基本的な検査です。
ヘモグロビン量	g/dl				貧血の有無、貧血の程度を判断する指標です。
ヘマトクリット値	%				血液中の赤血球成分が占める体積率で、貧血の程度を判断する指標です。
血小板数	10 ³ /mm ³				出血の止血機能に關し、その減少は出血傾向、増加は血栓形成の危険因子になります。
血清鉄	μg/dl				貧血の原因を調べるための基本的な検査です。

検査でわかるあなたの健康状態



医師からのアドバイス

検査実施日 月 日

↓
全体的な見直し

● 患者用定型報告書 (は追加項目)

FALCO 検査報告書(生化学等)			FALCO 検査報告書(血液)			FALCO 検査報告書(指定・フリー)			FALCO 検査報告書		
[追加項目]			[追加項目]			[追加項目]			[追加項目]		
受付日 報告日	検取日	検取日	受付日 報告日	検取日	検取日	受付日 報告日	検取日	検取日	受付日 報告日	検取日	検取日
検査項目	検査結果	基準値	検査項目	検査結果	基準値	検査項目	検査結果	基準値	検査項目	検査結果	基準値
総ビリルビン			白血球数						総ビリルビン		
直接ビリルビン			赤血球数						直接ビリルビン		
総蛋白			ヘモグロビン量						総蛋白		
アルブミン			ヘマトクリット値						アルブミン		
A/G比			MCV						A/G比		
AST(GOT)			MCH						AST(GOT)		
ALT(GPT)			MCHC						ALT(GPT)		
ALP IFCC			血小板数						ALP IFCC		
LD IFCC			網状赤血球数						LD IFCC		
LAP			好中球						LAP		
γ-GT(γ-GTP)			好酸球						γ-GT(γ-GTP)		
コリンエステラーゼ			好塩基球						コリンエステラーゼ		
アミラーゼ			リン/球						アミラーゼ		
CK(CPK)			単球						CK(CPK)		
総コレステロール									総コレステロール		
LDLコレステロール									LDLコレステロール		
non-HDLコレステロール									non-HDLコレステロール		
中性脂肪(TG)									中性脂肪(TG)		
ナトリウム									ナトリウム		
クロール									クロール		
カリウム									カリウム		
カルシウム									カルシウム		
血清鉄									血清鉄		
尿酸値									尿酸値		
クレアチニン									クレアチニン		
eGFR									eGFR		
尿酸									尿酸		
グルコース(血糖)									グルコース(血糖)		
HbA1c NGSP									HbA1c NGSP		
CRP定性									CRP定性		
CRP定量									CRP定量		
									白血球数		
									赤血球数		
									ヘモグロビン量		
									ヘマトクリット値		
									血小板数		

上記のとおりご報告致します。

● 患者用定型報告書（裏面）臨床的意義の全体的な見直し

* 検査項目のご案内 *

検査項目	臨床的意義	
尿白質	尿蛋白	尿蛋白や腎臓病、腎臓病などで尿中の尿蛋白を増加させます。
	アルブミン	尿蛋白、尿蛋白、尿蛋白などで尿蛋白を増加させます。
脂質	A/G比	アルブミンとグロブリンの比、尿蛋白や腎臓病、腎臓病などで減少します。
	総コレステロール	脂質代謝異常を反映します。高い場合は動脈硬化の危険因子になります。
	LDLコレステロール	悪玉コレステロールとも呼ばれ、高い場合は動脈硬化の危険因子になります。
	HDLコレステロール	善玉コレステロールとも呼ばれ、高い場合は動脈硬化の危険因子になります。
	総HDLコレステロール	HDLコレステロール以外の悪玉コレステロールとした動脈硬化の指標です。
電解質	中性脂肪 (TG)	血液中の脂質は脂質代謝異常や肥満の指標となります。食事の摂取で変動します。
	ナトリウム	血中濃度は脱水で増加、水分の過剰摂取や下痢、嘔吐の特徴で減少します。
	クロール	塩素イオン濃度です。血中ナトリウムやナトリウム代謝異常に伴い、変動を示します。
	カリウム	筋肉の収縮や神経伝達に重要なミネラルです。腎不全などで増加します。
	カルシウム	骨形成や骨吸収を調節するミネラルなどカルシウム代謝異常を反映します。
腎臓機能	CK (Crk)	腎臓や心臓の機能障害後に増える酵素で、腎臓の大きさを反映する指標です。
	尿素窒素	血液中の分解産物で腎臓の状態を反映します。
	尿酸	尿酸は尿酸や尿酸の代謝物で腎臓の状態を反映します。
	AST (GOT)	肝臓や心臓、骨格筋、赤血球などに含まれる酵素で、肝臓の状態を反映します。
	ALT (GPT)	主に肝臓に多く含まれている酵素で、肝臓ではASTより高濃度を示します。
	ALP (IFCC)	骨形成や骨吸収の指標で、骨格筋や骨髄などで増加する酵素です。
	LAP	肝臓や胆嚢や胆管などに多く含まれる酵素で、肝臓の状態を反映します。
	γ-GT (γ-GTP)	アルコール性肝臓病や胆道系疾患などの徴候を反映する酵素です。
	コリンエステラーゼ	肝臓や膵臓を反映します。肝臓や膵臓で減少、アルコール性肝臓病では増加します。
	尿酸	プリン体を分解する酵素です。尿酸症や痛風発作の徴候で増加します。
糖質	グルコース (血糖)	血糖値と関係が深い糖尿病の診断に用いられる検査です。食事の摂取で変動します。
	HbA1c	過去1〜2か月の平均的な血糖値を反映します。
腎臓	尿酸	尿酸代謝産物で、腎臓病の低下などで増加します。
	クレアチニン	筋肉由来のクレアチン代謝産物で、腎臓病の低下で増加します。
	eGFR	腎臓のろ過能力を示す指標です。腎臓の低下を示します。
炎症	CRP 反応性	感染症や組織損傷に伴い、血中に増加する蛋白の一つです。
	CRP 定量	感染症や組織損傷に伴い、血中に増加する蛋白の一つです。
その他	尿酸	尿酸分解産物で、血中の過剰な増加は痛風や尿酸結石の原因になります。
	LD (IFCC)	多くの臓器に含まれる酵素で、黄斑や白内障、肝臓などで増加します。
貧血	白血球数	炎症では一過性増殖し、白血球などの血液疾患でも増殖が持続します。
	赤血球数	貧血や多血症などの診断に用いられる基本的な検査です。
	ヘモグロビン値	貧血の有無、貧血の程度を判断する指標です。
	ヘマトクリット値	血液中の赤血球成分が占める体積率で、貧血の程度を判断する指標です。
	血小板数	血液の凝固に関与し、その減少は出血傾向、増加は血栓形成の危険因子になります。
血尿酸	尿酸の代謝産物を行うための基本的な検査です。	

* 健康管理のために定期的な検査をお勧めします。 監修 岡村 英彦
ファルコバイオシステムズ